

魅力あふれる建設産業づくりアクションプログラム2024

～愛媛を支える持続可能な産業へ～ 【概要版】

(プログラムの期間：R6～10年度)

建設産業を取り巻く環境

1. 建設産業の役割

安全・安心な地域の守り手

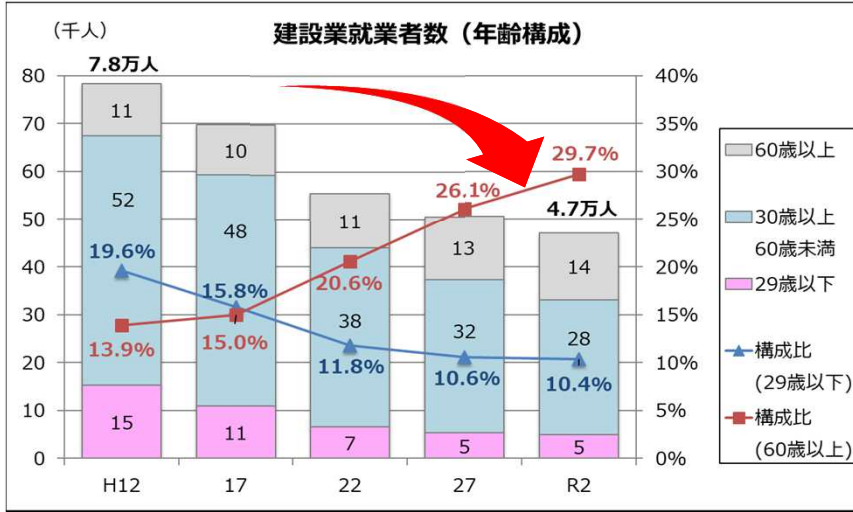
社会資本整備と維持管理の担い手

地域の雇用・経済を支える基幹産業

2. 建設産業の現状

○県内建設業就業者数の減少・高齢化

(出典：国勢調査)



今後さらに…

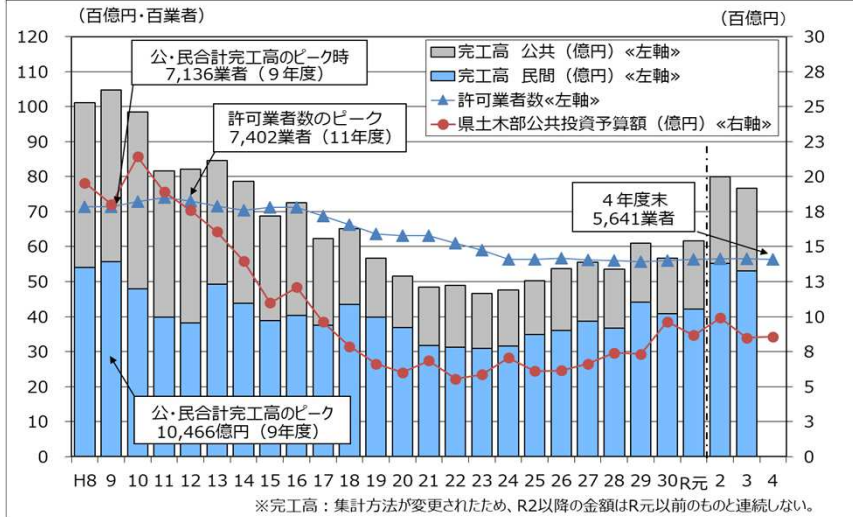


県内の
急激な人口減少
(人口構造も高齢化)

1985年 152万人
2020年 133万人
2040年 105万人 (推計)
2060年 78万人 (推計)

(出典：人口減少の要因分析及対策に向けた調査研究報告書 (愛媛県、一般財団法人地方自治研究機構))

○県内建設投資及び建設業者数の推移



(出典：国土交通省建設工事施工統計調査、愛媛県)

『2024年問題』

時間外労働の上限規制の適用に伴い、
○人手不足の加速
○事業者の利益減少
などが懸念される



◇建設業者アンケート調査結果 (令和5年度愛媛県の建設企業の現状)

《経営環境》

- ✓ 業績 **コロナ禍前と比較し、「ほとんど変わらない」が約半数。**一方で、「**下降している**」は32%。
- ✓ 経営上の課題 **「若年労働者の確保・育成」(78%) が最も多く、人材確保に関する意識が強い。**

《人材確保・担い手対策等》

- ✓ 技術者及び技能者 **「不足している」と回答した企業はそれぞれ約7割。**
- ✓ 採用状況 **「採用活動はしたが、直近5年間採用できていない」(32%)**
- ✓ 担い手確保の重要点 **「給与・賃金」(83%) が最も多く、次に「休日・労働時間等」(76%)**
- ✓ 人材確保 **「女性雇用を検討していない」(45%)、「外国人材の受け入れを検討していない」(78%)**
- ✓ 事業承継 **「事業承継するつもりだが、後継者が決まっていない」(30%) 又は「未定」(27%) が6割。**

建設産業の課題

1. 担い手の確保・育成

担い手不足が深刻化する中で、魅力向上による新たな担い手の確保・育成及び就労環境の整備等による入職・定着を図る取組が必要

2. 働き方改革と生産性向上

限られた人的資源を有効に活用し、「現場力」を維持するためのICT等を活用したDXの推進などによる生産性向上や、新たな担い手を呼び込むための働き方改革及び安全・健康の確保を図る取組が必要

3. 地域づくりへの貢献

地域インフラの整備・維持管理や雇用・経済の下支え、今後の災害等への対応を見据えた取組が必要



県の施策展開の方向性

1. 将来の建設産業を担う優れた人材の確保・育成

- (1)担い手の確保
《建設産業の魅力発信など》
- (2)担い手の育成
- (3)関係機関との連携等による取組
- (4)女性の活躍推進
- (5)外国人材の活用
《高度外国人材など》
- (6)円滑な事業承継

2. 働き方改革と生産性の向上等による魅力ある産業の実現

- (1)建設業従事者の処遇改善と多様な働き方への対応
- (2)適正な工期設定
- (3)施工時期の平準化
- (4)適切な積算による適正利潤の確保
- (5)建設キャリアアップシステムの普及促進
- (6)ICT等を活用したDXの推進
- (7)施工等の効率化に向けた取組
- (8)建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進 《建設職人基本法》
- (9)産学官連携による専門人材の育成

3. 地域の守り手として県民の安全・安心を支える地域づくりへの貢献

- (1)地域力の強化
《地域に貢献する建設業者の維持》
- (2)社会的責任と役割
《法令遵守》



プログラムが目指す姿

「人材への投資」を柱に成長し、選ばれる産業へと発展

行政、業界団体、各企業が一体となった取組を通じて、建設産業が地域の安全・安心や経済成長に貢献し、県民の理解と信頼を獲得することで、若者をはじめとした多様な人材の入職につなげる好循環の確立を目指します。

また、これにより、建設産業が、2024年問題を乗り越え、地域社会と共に、**愛媛を支える持続可能な、魅力ある産業へと発展し、「愛顔あふれる愛媛県」の実現**に貢献していくことを目指していきます。



建設産業の好循環を実現

◇ 行政・業界団体・各企業が一体となった取組を推進

